

市原市出身の有名人一覧表

REV.3 2024年8月25日

REV.2 2024年8月5日

REV.1 2024年7月25日

市内在住 我部山民樹

私には情報量が限られている上に、独断と偏見が多々あると思いますが、ご容赦ください。情報を戴ければ随時追記したいと思っています。

生 年	名 前	プロフィール	出身地/卒業校
不詳 江戸時代 の元禄 (1688 ～ 1704 年) ?	義僕・市兵衛	『おたけ騒動』に絡み、姉崎村名主・次郎兵衛の下僕・市兵衛が遠島になった主人の御赦免を長年にわたり幕府に願い出て、その並外れた忠義心が幕府に認められた結果、主人らが御赦免となった。市兵衛は儒家の林大学頭（はやしだいがくのかみ）と荻生徂徠（おぎゅうそらい）によってその忠義が世に喧伝され、俳人・宝井其角（たからいきかく）の句にも読まれ、江戸中の話題となり、昭和になってからも直木賞小説の題材となった人物である。後に苗字帯刀を許され姉崎村の名主となり斎藤市兵衛を名乗る。 『おたけ騒動』とは、1695年上総国市原郡深城村で害獣の猪鹿を駆除中に山猟師が鉄砲で百姓の女房・おたけを鹿と間違えて殺してしまったことに始まる。関係する近隣の村の名主らが相談の上、お上に届け出ずに事を隠密に済ませたことが露見し、勘定奉行・荻原重秀（おぎわらしげひで）によって裁かれ、猟師は死罪、姉崎村の名主・次郎兵衛ら10人が伊豆大島と三宅島に遠島、9人が追放となり、そのうえに土地家屋没収という驚天動地の一大事件である。（『市原の「おたけ騒動・義僕市兵衛記」雑感』より）	市原郡姉崎村

不詳、元禄？	姉前屋四郎左衛門 (あねさきやしろうざえもん)	江戸日本橋小網町で穀物問屋を営む人物で、「おたけ騒動」によって遠島の刑に処罰された名主達の赦免運動をし、その成就を祈願して、元禄 15 年 (1703 年)、手水鉢 (ちようずばち) を姉崎神社 (古くは姉前神社) に奉納したと言われている。(鉢は神社で現存している。)	市原郡姉崎村
1792 年	立野良道	国学者 (『江戸近海図志略』を著す) 引田村の名主と代官をつとめる	市原郡引田村
1817 年 (文化 14 年)	小柳常吉 (高石桂治)	大相撲力士 (大関) 1854 年 (嘉永 7 年) ペリー提督率いる黒船が再び浦賀に来航した際に一行に相撲を見せることとなり 2 月 24 日横浜で土俵入りや稽古相撲を見せた。またデモンストレーションとして五斗俵を差し上げて歩いてみせた。小柳は力自慢のアメリカの水兵を 3 人同時に相手にし、1 人を差し上げ 1 人を小脇に抱え 1 人を脚下に踏みつけ彼等の肝を奪ったという。	市原郡上高根村
1818 年	天羽南翁	市原郡国吉村 (現在、市原市東国吉) の医師天羽玄尚の四男として生まれ、七歳で日蓮宗の僧籍に入り、経学や国学を修めた後、江戸の儒学者東条一堂の門下に入り、経学を極めた。僧としては浜野の泉福寺などに身を置いたが、幕末には勤皇僧として活躍し、多くの志士を援助して幕吏から匿った。1883 年、還俗して家塾を開き、地域の子弟の教育にあたった。 後に川上南洞らにより泉福寺に「天羽南翁先生の碑」が建立された	市原郡国吉村
生年不詳、入幕が 1854	姉川浪右エ門	大相撲力士 (前頭) 雷部屋に所属	市原郡姉崎村

年(嘉永6年)			
1834年 (天保5年)	盤石力勝 (ばんじゃくりきかつ本名;古茶)	大相撲力士(前頭筆頭) 美男としても知られ、女性のファンも多かった。また美男を活かして錦絵も多く描かれ、2代歌川国政によって描かれた着物姿の錦絵が現存している	市原郡養老村
1873年 (明治6年)	八代国治	・歴史学者。文学博士(國學院大学教授等を歴任。長慶天皇在位の結論を出したことで知られる) 帝国学士院恩賜賞受賞。勲六等瑞宝章追賜	市原郡上高根村 /国学院大卒
1877年 (明治10年)	神谷良平	・医師 ・政治家(千葉市長)	市原郡/千葉中学校、千葉医学専門学校
1878年	高石真五郎	・ジャーナリスト ・実業家 国際オリンピック委員会(IOC)委員。毎日新聞社最高顧問。特殊法人日本自転車振興会第2代会長	(現)市原市鶴舞/慶応義塾大卒
1878年	宮原立太郎	・日本のX線医療の先覚者(その業績を医学雑誌への発表や、講演を行い、X線の普及・発展に貢献) ・社会事業家(その晩年に、虚弱児童養護協会を創設し、社会事業に尽力)	市原市総社/千葉県尋常小学校、第1高等学校、千葉医学専門学校卒

1881年	鴫田恵吉	<ul style="list-style-type: none"> ・教育者（千葉県鶴枝小学校長、神奈川県実科高女校長など） ・地方郷土史家（『房総叢書』、『千葉県教育史』など千葉県の歴史と民族について多くの著作を発表） 	市原郡草刈村/ 千葉師範学校、 日本大学卒
1882年	鈴木隆	<ul style="list-style-type: none"> ・政治家（衆議院議員） ・実業家（鈴木商会株式会社社長、大日本土地株式会社社長、鈴木隆同族株式会社社長などを歴任） 	市原郡/東京府 師範学校卒
1889年	緋緘祐光 （ひおどしす けみつ、本名； 鈴木勇作）	大相撲力士（東前頭） 二十山部屋に所属。足を骨折し廃業	市原郡/
1900年	小沢久太郎	内務官僚。政治家（参議院議員3期、第19代郵政大臣）	市原郡加茂村/ 東京帝国大卒
1903年	立野信之	小説家（五井町役場に就職するも2年後に連隊に入営。連隊経験を元に、二・二六事件を題材にした『叛乱』で直木賞受賞）	市原郡五井町平 田/旧制関東中 学校（現敬愛高 等学校）中退
1905年	春日井梅鶯 （安藤金作）	浪曲師（東海林太郎のヒット曲「あかぎの子守唄」を秩父重剛が浪曲に脚色し梅鶯が演じて一躍スターダムに。その後もレコード「天野屋利兵衛」「南部坂雪の別れ」「越後獅子祭り」「残菊物語」などがヒットし得意ネタとなる。美声とリズムカルな「梅鶯節」が特徴。日本浪曲協会会長を務めた。	市原郡鶴舞/
1907年	始関伊平	商工官僚・政治家・弁護士（建設大臣などを歴任）	市原郡今津朝山 /東京帝国大卒

1907年 (明治40年)	菅野儀作	政治家(八幡町長等を経て参議院議員)元総理大臣の田中角栄が「千葉のことは菅野に話を通せ」と言っていたとされる。 飯香岡八幡宮にその銅像が置かれている	市原郡八幡/八幡中3年修了
1914年 (大正3年)	稲葉襄	経営学者(神戸大学名誉教授、広島経済大学名誉教授。経営学博士。専門は中小工業経営・家庭経済学・仏教的企業経営学。神戸女子大学、武庫川女子大学、神戸女子薬科大学でも非常勤講師を務めた。	市原郡鶴舞/神戸商業大卒
1929年	小野満	音楽家(ベーシスト、バンドマスター、指揮者。『スイングビーバーズと共に17年間にわたりNHK紅白歌合戦では白組の演奏・指揮を担当)	市原郡磯ヶ谷/姉崎小、千葉工業高校卒
1930年	小出善三郎	・政治家(元市原市長) ・事業家(丸直社長) 市原商工会議所会頭	市原市/成蹊大卒
1930年 (昭和5年)	葉山修平 (安藤幸輔)	・作家;1960年、短編小説『日本いそっふ嘶』が第43回直木賞候補となる。同年12月、『日本いそっふ嘶』(大和出版)が出版された。1963年、短編小説『現在完了』が第16回人学界新人賞佳作を受賞。 ・教育者;開成高校教諭、千葉大学講師などを経て、駒沢短期大学教授、同大学名誉教授	市原郡/千葉師範学校卒、東大修士課程
1941年	岡田武夫	カトリック教会聖職者。カトリック浦和司教区(現カトリックさいたま教区)第3代司教とカトリック東京大司教区の第8代司教を務めた。洗礼名は(ペトロ)。	市原郡/東京大卒

1941年	千家和也 (村越英文)	<ul style="list-style-type: none"> ・作詞家 (『終着駅』が大14回に本レコード大賞の作詞賞を受賞。アイドル歌謡曲からアニメソング、大人の歌と幅広く作詞をしている) ・小説家 (『だから言わないコッチャナイ』で、第60回オール讀物新人賞を受賞) 	市原郡/市川高校卒、早稲田大学卒
1941年	周防郁雄 (すほういくお)	芸能プロモーター、バーニングプロダクション代表取締役社長他、巨大バーニンググループのトップ、そして「芸能界のドン」として知られる。	市原郡不入斗/市川高等学校卒
1946年	佐久間隆義	政治家 (元市原市長)	千葉県 (市原市) /市原高校、日本大学卒
1948年 (昭和23年)	ヨネスケ (本名;小野五六)	<ul style="list-style-type: none"> ・落語家 (4代目桂米丸の初となる直弟子となる) ・タレント (『突撃!隣の晩ごはん』のリポーターとして知られる) 	千葉県姉崎町/姉崎中卒、市原高校卒
1949年	鈴木紀夫	<ul style="list-style-type: none"> ・小野田少尉救出冒険家 (1972年、太平洋戦争終結後も日本の降伏を信じずにゲリラ活動を展開していた、残留日本兵の小野田寛郎に逢うために向かった。1974年に小野田との接触に成功。この接触により小野田の救出が現実味を帯び、3月に小野田は日本に帰国。 ・雪男 「雪男発見」に情熱を注いだがヒラマヤで遭難 	(現)市原市八幡/習志野高校卒、法政大中退
1953年	栗田宏武	チェーンソーアート (チェーンソーアートの世界チャンピオン)、いちはら観光大使	市原郡

1955年	米村でんじろう (伝治郎)	サイエンスプロデューサー (フジテレビ『でんじろうの THE 実験』他の多数の番組に出演)、いちはら観光大使	市原郡加茂村 / 市原高校、東京学芸大卒
1957年	岡島一正	政治家 (元衆議院議員)	市原郡姉崎町 / 姉崎東小、早稲田大学卒
1959年	野崎進	野球選手 (千葉商業高では主将兼エース、第59回全国高等学校野球選手権大会に出場。初戦で東洋大姫路高と対戦して敗れるが、野崎は、この試合左打席で4打数3安打だった。右投げの投球では、縦のカーブを武器にした。1977年オフ、ドラフト外でヤクルトスワローズに入団。一軍公式戦はおろか二軍戦での登板もないまま、現役を引退。)	市原郡 / 千葉商業高校卒
1960年 (昭和35年)	小出譲治	政治家 (市原市長) 事業家 (コイデ陸運株式会社代表取締役)	市原郡青柳 / 千種小、五井中、木更津高校、東海大学短期大卒
1961年	高田博久	野球選手 (夏の甲子園千葉県予選では準々決勝に進出。市立銚子高と対戦するが、延長16回の熱戦の末、サヨナラ本塁打を喫し敗退。横浜大洋ホエールズでは中日ドラゴンズ戦にてプロ初勝利を挙げ、ヒーローインタビューで涙を流したことから「涙の1勝」と脚光を浴びた)	市原郡 / 千葉商業高、青山学院大卒
1961年	安藤昌子	女子プロゴルファー (ヤマハレディ - ス 15位他)	市原郡 /

1963年	市原市誕生	市原郡姉崎町・市原町・五井町・三和町・市津町が合併。1967年、南総町と加茂町を併合	
1964年	千葉公慈	仏教学者（東北福祉大学学長） 宝林寺（市原市朝生原）住職 いちはら観光大使	市原市朝生原/ 駒沢大卒
1964年	はやて （西田秀樹）	プロレスラー（「みちのくトリオリーグ戦」で優勝）	市原市/城西大 卒
1965年	鈴木誠	競輪選手（千葉経済大学付属高在学中から自転車競技を行っており、後に競輪学校に入学。1991年にはKEIRIN グラプリに優勝し賞金王に輝いた。）	市原市/千葉経 済大付属高校、 競輪学校卒
1965年	石丸幹二	俳優（『半沢直樹』他）、歌手、司会者（『題名のない音楽会』他）として活躍。元劇団四季の団員（看板俳優として活躍）	市原市（新居浜 生まれ）/幕張 西高（現幕張総 合）、東京音大中 退、東京芸術大 卒
1966年	内田真由美	女子プロゴルファー（ダンロップレデイス50位）	市原市/姉崎高 校卒
1967年	石井正忠	サッカー選手（鹿島アントラーズ時代の1993年にはサントリーシリーズを制覇） 監督（鹿島アントラーズ時代、年間優勝を達成）	市原市/市原緑 高校、順天堂大 卒

(昭和 42年)			
	飯島勝矢	医師・医学者（東京大学高齢社会総合機構教授他） 2022年、市原市市民会館で「フレイル予防講演会」を開催	市原市/1990年 慈恵医科大卒
1970年	城島茂	タレント、音楽家、アイドル、俳優、司会者、ギタリスト、ニュースキャスター、実業家。（TOKIOの最年長メンバーで、ギター、コーラス（主に高音）、およびリーダーを務める。株式会社TOKIO所属で、同事務所の代表取締役社長）	市原市（五井生まれで奈良県大和郡山市育ち）/ 奈良商業学校卒
1970年	木村さおり	フリーアナウンサー、ラジオパーソナリティー	市原市/市原中央高、東洋大卒
1971年	中原果南	俳優（仲代達也の『無名塾』所属。東海テレビ製作のドラマ『はるちゃん』では初主演（伊藤洋子役）を果たす	市原市/姉崎東中、桜町高校卒
1971年	千秋 （ちあき）	女性タレント、歌手、西友、デザイナー、ものまねタレント、文筆家、作詞家。 いちはら観光大使	市原市/青葉台小、姉崎東中、千葉北高校、青葉学院短期大学卒
1972年	miyuki （中島美由紀）	歌手、ピアニスト、作曲家	市原市/国立音楽大卒
1973年	大沢幹朗	アナウンサー、リポーター、ナレーター（『国際報道 2014』等の報道番組での実況、司会、リポーター、ナレーション、ボイスオーバーを手掛ける）	市原市/昭和学院秀英高等学校、早稲田大卒

1973年	山岸佐知子 (旧姓;馬場)	サッカー審判員(日本で二人目の1級審判員、国際サッカー連盟公認の女子国際主審に選出され、国際大会で主審を務め、2015・FIFA女子ワールドカップに選出された。2010年から2013年まで4年連続でAFCアニュアルアワードのアジア年間最優秀女子レフェリーに選ばれている(通算5回))	市原市
1974年	市原市市民会館	1527席の大ホール、小ホール、会議室等の多目的ホールとして開館	
1974年 (昭和49年)	石渡鉄平	ボートレーサー(通算2000勝を達成)	市原市/木更津高校
1974年	多田昌弘	野球選手(3年の第74回全国高等学校選手権大会にはエース富樫、杉本、紺野、多田の4人で投手陣を組み準優勝。広島東洋カープに6位指名、現在は阪神タイガースのバッティング投手)	市原市/拓大紅陵高校卒
1974年	川嶋勝重	プロボクサー(WBC世界スーパーフライ級王者)	市原市/長南高校卒
1976年	仁藤和良 (にとうかずよし)	実業家、人材・組織開発コンサルタントの株式会社ビヨンドを設立し、代表取締役社長に就任	市原市/市原中央高校、早稲田大卒
1976年	門脇英基	総合格闘家(第7代修斗世界フェザー級王者)	市原市/
1977年	石井弘寿	野球選手(ヤクルトスワローズの投手で通算27勝15敗、オリンピック、WBCの日本代表)	市原市/東京学館高等学校卒

1977年	猫ひろし (滝崎邦明)	<ul style="list-style-type: none"> ・お笑い芸人 ・マラソン選手(カンボジアに国籍を移し、2016年リオでジャネイロオリンピックのカンボジア代表に選出される) いちはら観光大使	市原市潤井戸/ 市原八幡高校、 目白大卒
1979年	瀬藤幹人	ボクサー(日本スーパーバンタム級暫定王者)	市原市/千葉経済 大学付属高校、 日本体育大卒
1979年	森さやか (森清佳)	女性アナウンサー(北海道テレビで『イチオシ!』の2代目MC)	市原市/学習院 大学卒
1979年	牛抱せん夏 (うしだきき せんか、本名; 牛抱千夏)	女優、怪談師(「怪談グランプリ 2010」に優勝したことをきっかけに、怖さや怪しさを感じさせる物語を語る「怪談師」の活動を開始する。祖父母たちから受け継いだ怖い話や怖さを感じた自他の実体験を基にした怪談を得意としている) 地元の南総公民館では毎年夏休みに「怖いお話会」を行っている。 主な著書 <ul style="list-style-type: none"> ・「千葉怪談」 ・「呪女怪談」 ・「実話怪談 呪紋」 ・「千葉の怖い話～亡霊たちの集い～」 	市原市牛久/君 塚小、内田小、南 総中学、東海大 望洋高卒 2歳まで長野県 野沢温泉村の母 親の実家で暮ら す
1980年	米田夕歌里	小説家(『トロンプルの星』で第34回すばる文学賞を受賞)	市原市/早稲田 大学卒
1980年	吉田康一	劇作家・演出家。演劇団体 Antikame? 主宰。日本劇作家協会事業委員、リーディング部・せりふワークショップ担当委員。日本演出者協会会員	市原市/千葉西 高、日本大学卒

1981年 (昭和56年)	三上尚子	女子サッカー選手(元日本代表。田崎ペルーレ時代の2001年にはリーグのベストイレブンに選ばれた) 監督(2014シーズンよりジェフ千葉レディースの監督に就任し、2017年には『なでしこリーグ杯』で優勝し、1部でのクラブ史上初タイトルを獲得)	市原市/
1981年	青山博一	オートレーサー(2003年全日本ロードレース選手権GP250年間王者、2009年ロードレース世界選手権250ccクラス年間王者。最高峰MotoGPクラスを4年間走り、現在はHRC(ホンダレーシング)のテストライダー兼イデミツ・ホンダ・チームアジア監督) いちはら観光大使	市原市/
1982年	植草祐樹	サッカー選手(川崎フロンターレ、ヴィッセル神戸他に所属)	市原市/菊間小、 菊間中、市立船橋高校、早稲田大学卒
1982年	小出稚子 (こいでのりこ)	作曲家(現在デンハーグ王立音楽院在学中。第3回、第5回東京音楽大学学長賞受賞。CCMC2007入選。『クセランパサラン』にて第17回芥川作曲賞受賞、『南国の魚、極彩色の夜』にて第76回に本音楽コンクール作曲部門2位、岩谷賞受賞。第18回出光音楽賞受賞。2012年アリオン賞など受賞)	市原市/千葉高、 武蔵野音大卒、 アムステルダム音楽院に留学
1984年	工藤浩平	サッカー選手(ジェフユナイテッド市原他、日本代表)、「姉ヶ崎のマラドーナ」といわれた)	市原市ちはら台/ 清水谷小、姉崎高校卒
1984年	大久保裕樹	サッカー選手(市立船橋高時代、主将として全国選手権で優勝、サンフレッチェ広島他に所属)	市原市/市立船橋高校卒

1984年	栗生隆寛	ボクサー（WBC世界スーパーフェザー級王者。世界2階級制覇王者）	市原市/習志野 高校卒
1984年	青山周平	オートレーサー（通算101回優勝）	市原市/
1985年	岡田大	サッカー選手（三井千葉SC, FCホリコシ/アルテ高崎他に所属）	市原市/五井小、 五井中、関東第 一高校、創造学 園卒
1986年	佐藤誓哉	サッカー選手（三井千葉SC, VONDS市原）	市原市/辰巳台 中、市立船橋高、 中京大卒
1987年	村山智彦	サッカー選手（三井千葉SC, 松本山雅FC他に所属、ベスト11に選ばれたことがある）	市原市/市立船 橋高校、静岡産 業大卒
1987年	伊藤大介	サッカー選手（ジェフユナイテッド市原他に所属、ユニバシアード日本代表）	市原市/五所小、 八幡中、検見川 高校、順天堂大 卒
1988年	新井麻衣	女子プロゴルファー（2005年中国ジュニアオープン 優勝、2007年 中部女子アマチュアゴルフ選手権 優勝、ベストスコアはダイキンオーキッドレディース 2R で 67）	市原市/福井工 業大学附属福井 高校卒

1988年 (昭和63年)	鳥養祐矢 (とりかいゆうや)	<ul style="list-style-type: none"> サッカー選手 (レノファー山口 FC 他) 政治家 (山口市議会議員) 	市原市 / 市原八幡高校、国際武道大学卒
1988年	文化財「王賜銘鉄剣」	日本最古とされる「王賜銘鉄剣」が山田橋の稲荷台古墳から発見される。重文級とされる。	
1989年	遠藤敬祐	サッカー選手 (菊間フットボールクラブ、U19 日本代表、水戸ホーリーホック他)	市原市 / 菊間小?
1989年 (昭和64年/平成元年)	桐谷美鈴 (本名は松岡さや紗)	モデル、タレント、女優 news every. のキャスター (高校1年生の時に「千葉のナンバーワン美少女」としてスウィートパワーにスカウトされた。)	市原市 / 国分寺台中、千葉東高校、フェリス女学院大卒
1990年	星野拓海	<ul style="list-style-type: none"> バスケットボール選手 (千葉ジェッツに所属) 指導者 (市立船橋高校の男子バスケット部の監督) 	市原市 / 有秋中、市立船橋高校、筑波大学卒
1990年	杉野明子	パラバドミントン選手 (パラバドミントン選手権大会 2017 で優勝、東京パラリンピックでシングルスとダブルスで銅メダル獲得)	市原市 / 八幡中、市原八幡高等学校、淑徳大卒
1990年	上総国分尼寺跡復元	上総国分尼寺跡は市原市が古代上総国の政治、文化の中心地であったことを象徴する歴史的文化遗产であり、この貴重な文化遗产を後世に伝え、ふるさとの歴史や文化を見直し体験できる場として史跡の整備を開始。中門 (ちゅうもん) が 1993 年度に復元公開さ	

		れ、そして中門と金堂を結ぶ復元回廊が、1999 年度に完成。1993 年、その一角に「史跡上総国分尼寺跡展示館」が開館した	
1990 年	柿崎あやの	ソフトテニス選手（全日本女子選抜ダブルス優勝（ペアは黒木瑠璃華））	市原市 / ちはら台中、福岡県立若松高、日本体育大卒
1991 年 (平成 3 年)	長澤和輝	サッカー選手（全国高校選手権大会で優秀選手に選ばれた。ベガルタ仙台他に所属）	市原市 / 清水谷小、八千代高校、専修大卒
1991 年	柚木彩見 (ゆずきあやみ)	女優（日本映画；『シン・ゴジラ』他、舞台；『LOOP THE LOOP』他、テレビ；『中居正弘の金曜日のスマイルたちへ』他）	市原市 /
1991 年 (5 歳から川崎で育つ)	遠藤由佳子	アナウンサー（NHK のキャスター、気象予報士）	市原市 / 東京理科大卒
1991 年	『市原市楽友協会オーケストラ』の発足	「市原にオーケストラを」と『市原市楽友協会合唱団』とともに設立。「文化芸術の力でちはらをもっと元気にしたい」との思いで発足し、夏にはオーケストラ単独の演奏会を行い、冬にはオーケストラと合唱共演の演奏会を実施	

1992年	プロサッカーチーム「ジェフユナイテッド市原」が発足	この年日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が発足。この時に加盟した10クラブをオリジナル10と称するが、そのうちの 하나가ジェフユナイテッド市原（現ジェフユナイテッド市原・千葉）である。	
1992年	女子サッカーチーム「ジェフ千葉レディース」が発足	市原市、千葉市をホームタウンとしているWEリーグに所属する女子サッカークラブ「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース」	
1992年	成田美寿々	女子プロゴルファー（通算13勝、生涯獲得賞金5億円を達成済み）	市原市/ちはら台南中、拓大紅陵高校卒、日本体育大学中退
1992年	高嶋活士	パラ馬術選手（東京パラリンピックの馬場馬術代表、パラ馬術競技個人グレード4に出場、14位） 「市原市スポーツ特別賞」を贈呈される。	千葉県/ちはら台南中
1993年	小島瑠璃子	バラエティータレント、司会者、スポーツキャスター、元グラビアモデル	市原市/ちはら台南中、千葉東高校卒、共立女子大中退

1993年	積田景介	サッカー選手（市立船橋高時代に全国サッカー選手権で優勝に貢献、SIHBUYA CITY FCと契約）	市原市/五井小、五井中、市立船橋高、駒沢大卒
?	亀井友莉	バイオリスト（高嶋ちさ子12人のバイオリニストの元メンバー、「徹子の部屋」などに出演） いちはら観光大PR大使 （広報いちはら「この街あの人この人」、千葉日報）	市原市育ち（福岡県生まれ）/東京音楽大付属高、東京音楽大卒
1994年	今瀬淳也	サッカー選手（青葉台フットクラブ、三井千葉サッカークラブ市立船橋高校時に全国総体で優勝、カターレ富山他に所属）	市原市/市立船橋高、国士館大卒
1994年	山内鈴蘭	タレント（SKE48およびAKB48の元メンバー、芸能界No.1の女子ゴルファー、山内鈴蘭の“らんらん”ゴルフ講座） いちはらプロモーション大使	市原市/日出高卒
1996年	木村優里	ダンサー（新国立劇場バレエ団のプリンシパル、『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『ジゼル』『シンデレラ』『竜宮 りゅうぐう』といった作品で次々と主役を踊る。 広報いちはら令和5年1月号「この街あの人この人」欄に掲載	市原市/
1997年	郡司裕也	野球選手（小学校時にはロッテマリーンズジュニアに選出され、中学時に千葉市リトルシニアで全国優勝、仙台育英高では全国準優勝、慶応義塾大学時には神宮大会で優勝、中日ドラゴンズや北海道日本ハムファイターズでプレー）	市原市ちはら台/水の江小、ちはら台南中、仙台

			育英高、慶応義塾大卒
1997年	小川和沙	柔道家（東京パラリンピック女子70キロ級で銅賞を受賞） 「市原市市民栄誉賞」を贈呈される	市原市/五井中、 千葉盲学校高等部卒
1998年	桃野美桜	女子プロレスラー（第17代AAAWシングル王座・第22、24代WAVEタッグ王座・第11代センダイガールズワールドタッグチームチャンピオンシップ・第29代OZアカデミー認定無差別級王座）	市原市
1999年	柏木ひなた	・歌手（2020年11月1日放送のテレ朝系「関ジャム完全燃SHOW」で「令和アイドル界スゴいボーカリスト10人」に選出された。楽曲は『永遠のトリニティー（三位一体）』『puzzle』 ・女優（2015年公開の映画『脳漿炸裂ガール』では主演・市位ハナ役を務めた ・タレント	市原市/私立恵比寿中
生年不詳（2018年宝塚音楽学校に入学）	遼美来（りょうみくる）	宝塚歌劇団106期生。（2018年4月に宝塚音楽学校に入学、2020年3月に同校を卒業後、宝塚歌劇団に入団した39名を指す） 2020年の初舞台は『WELCOME TO TAKARAZUKA』	市原市/志学館高校、宝塚音楽学校卒
2001年	本橋洋斗	けん玉プレーヤー（18歳で、けん玉世界大会「North America Kendama Open2019」	市原市（南部？） /

2002年	石渡翔一郎	ボートレーサー（ボートレーサー養成所チャンプに輝く、2020年にデビューし、すでに通算20勝を達成）	市原市/木更津高校卒
2002年	笠原朱里	ソフトボール選手（2017年のU16カナダ杯の日本代表に選出され優勝、2019年開催の第13回女子U19ワールドカップにも出場、2023年題回アジア女子大学選手権大会でも優勝に貢献）	市原市/牧園小、ちはら台西中、千葉経済大付属高、日本体育大卒
2004年	房州山 （東海有真）	大相撲力士 境川部屋 序二段 生涯戦歴（26場所）75勝93敗21休	市原市
2005年	安藤阿雄依	サッカー選手（U16, 17日本代表、清水エスパルス他に所属）	市原市/国分寺台東小、国分寺台中、静岡サレジオ高卒
2005年	佐田の城 （山口慶太）	大相撲力士 境川部屋、序二段 生涯戦歴（26場所）45勝87敗38休	市原市
2005年	アンサンブルのトリオグループ「フローラ」を結成	市原市を拠点に市役所のロビーコンサート、学校や保育園でのコンサート、病院や福祉施設、レストランや飲食会でのコンサート、結婚式等の演奏等で活動している。 2024年8月、姉崎公民館でバイオリンの大内晴美、フルートの清水圭子、齋藤由美子の3氏が演奏。	

		<p>3氏のプロフィール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大内晴美；東京音楽大ピアノ科卒。バイオリンは幼少の頃より演奏していたが、大学で副学として学ぶ。市原市楽友協会オーケストラのコンサートマスターを務めるほか、チェロ&ピアノとのトリオ演奏などアンサンブルも活発に行っている。 ・清水圭子；国立音大。市内の音楽教室でフルート講師を務め、現在は各種音楽活動を活発に行っている。市原市楽友協会オーケストラ、茂原交響楽団メンバー。 ・齋藤由美子；桐朋学園大ピアノ科卒。ウイーン国立音大セミナーで研鑽を積む。ソロリサイタルやリクルート混成合唱団演奏会ピアニスト、京葉混成合唱団、かずさコールなど多くの演奏会に出演。後進の指導にもあたっている。 	出身地不明。 市原市ゆかりの人物
2007年	森みみ	アーチェリー（オリンピック強化選手） （広報いちはら）	市原市/ちはら台中
2008年 （平成20年）	古賀魁気 （こがかいき）	プロスケートボーダー（2022年、14歳にてプロの資格を獲得） （広報いちはら, シティライフ）	市原市/五所小、八幡中
2009年	上総いちはら 国府祭り	市民のふるさと市原に対する誇りや郷土愛を育むことを目的とした、市原市最大のお祭りを開始	
2019～ 2200年		『更級日記』（さらしなにつき）の著作で名高い菅原孝標女（すがわらのたかすえのむすめ、孝標は市原の国分寺台辺りの上総国府の国司として赴任）の生誕千年にあたり、更級日記と市原市の歴史遺産の周知活動を開始	
2020年	更級日記千年 紀文学賞	文学賞を通じ、書く楽しみや読む楽しみを感じ、文学に励まされ心豊かになること、そして、市原の魅力や愛着を感じていただくことを目指す	

2020年	地質時代「チバニアン」	77.4万年前から12.9万年前にあたる、地質時代の一つ。2020年1月15日に国際地質科学連合により「チバニアン」(千葉時代)と命名された。2022年5月21日に市原市田淵の地層に時代境界となるゴールドenspайクが設置された。 2026年までに現地のガイダンス施設等を整備する計画であり、2022年8月には隈研吾建築都市設計事務所が設計を受託した。	
2022年	市原歴史博物館の開館	市の歴史遺産の価値と魅力を分かりやすく伝え、市民の歴史・文化活動や交流を支える拠点施設	

参考資料

- ・「千葉県市原市出身の有名人」(芸能人・歌手・スポーツ選手など)
- ・「市原市出身の有名人 | 有名人ナビ・出身都道府県編」
- ・「市原の郷土史75. 川上南洞の碑文」
- ・「市原の「お竹騒動・義僕市兵衛記」雑感」
- ・市原市の姉崎公民館講座「フローラ コンサート」
- ・市原市の姉崎公民館講座「浮世絵で歴史散歩 相撲絵の力士たち」
- ・ウィキペディア
- ・広報いちほら
- ・千葉日報
- ・シティライフ
- ・大室晃著『市原人物譚』
- ・市原市の市民大学講座「南いちほらの思い出」

以上